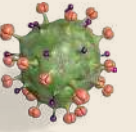


疫学調査対応システムの構築



□ システム主要ページ (詳細)

[統計分析] 患者数、死亡者数、特定期間内の再感染者数を調査する際 25地区の性別と年齢が提供可能です

서울시 감염병 통합관리 시스템 | 감염병현황 | 데이터관리 | **확진자정보분석** | 컨택트관리 | 시스템관리 | kim

확진자정보분석

- 확진자대장
- 심층역학관리
- GDB관리
- 통계 및 현황
- 사용자대장

통계 및 현황

기간: 2022-11-29 (일) ~ 2022-12-01 (일)

검색분류: 자치구별 | 성별: 전체 | 연령별: 전체

X-필터: 연령 성별

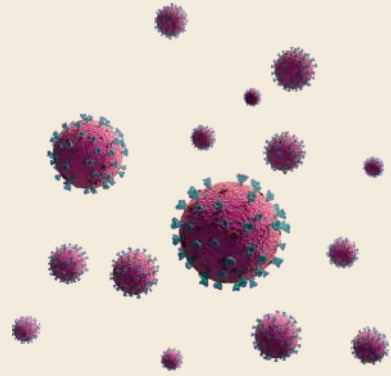
Y-필터: 자치구별 성별 재감염지역 사망지역 연령대별

검색 초기화

분류	2022		총계
	11월	12월	
재감염	10대미만	0	0
	10대	0	0
	20대	0	0
	30대	0	0
	40대	0	0
	50대	0	0
	60대	0	0
	70대	0	0
	80대	0	0
	90대	0	0
사망	100대	0	0
	10대미만	0	0
	10대	0	0

[IME]를 사용하지 않습니다.

03

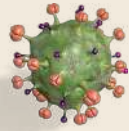
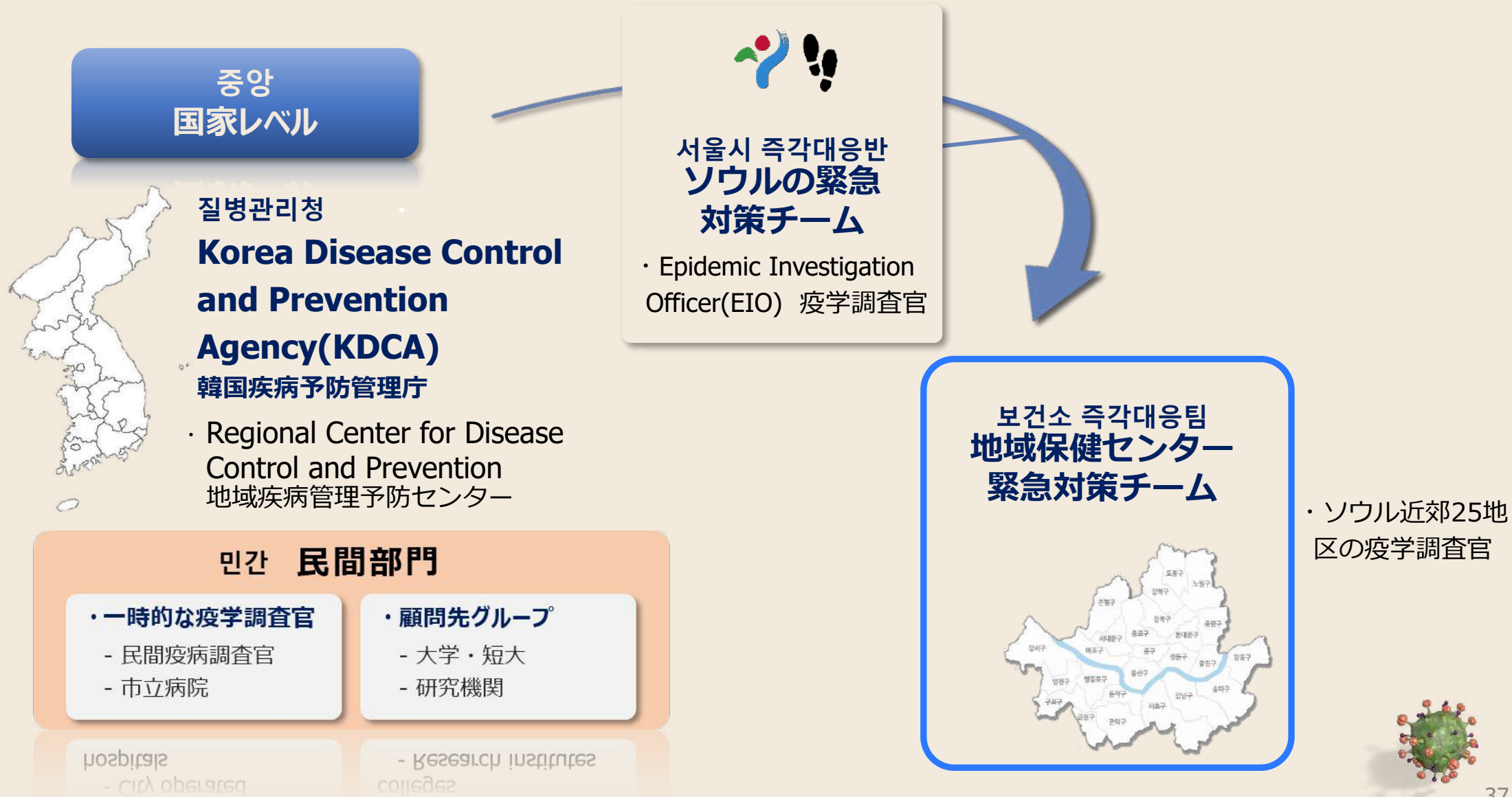


서울의新型コロナウイルス 感染症対応

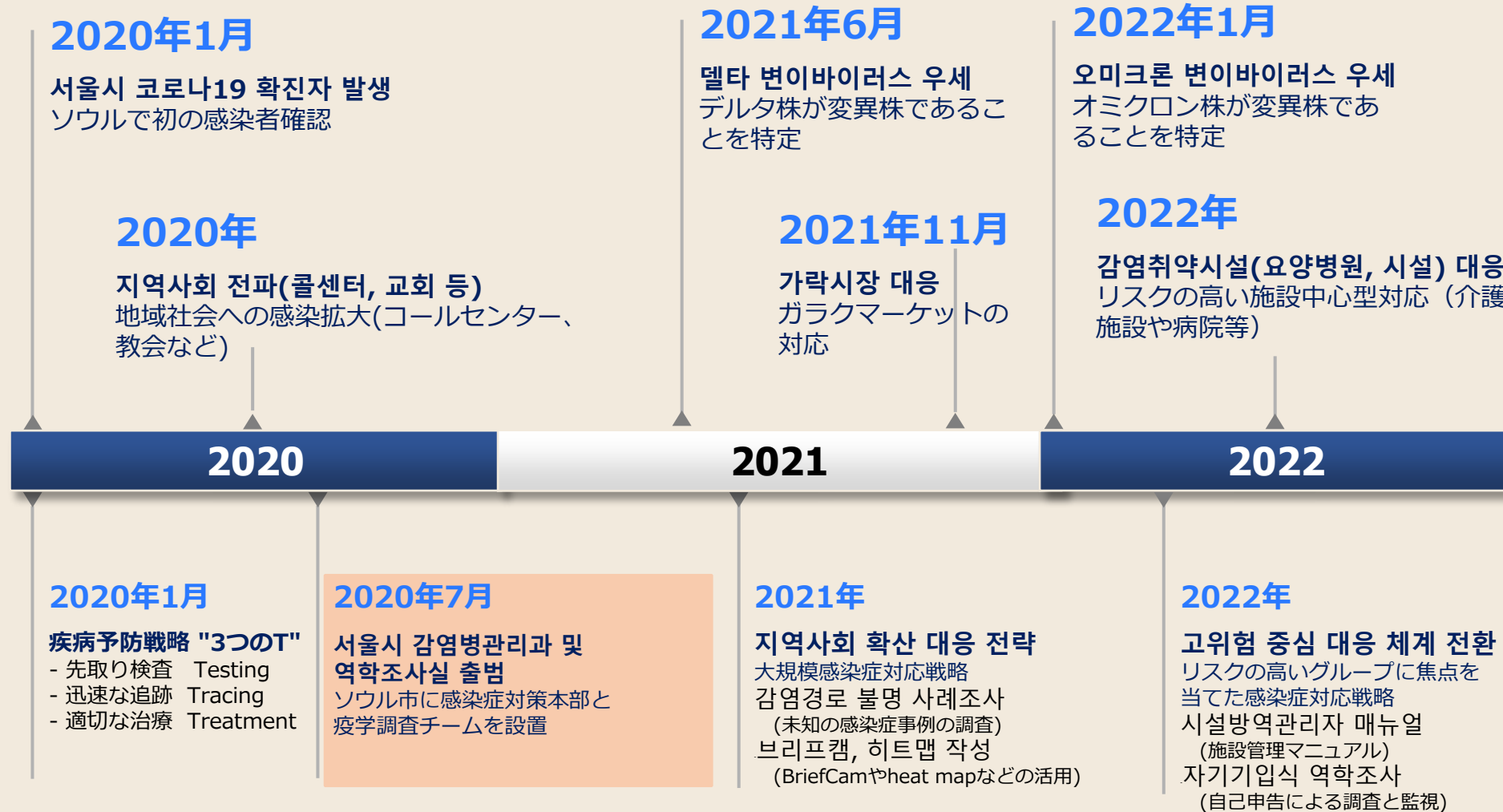


- 疫学調査対応システム
- 自宅療養

疫学調査対応システムの組織図



ソウルの新型コロナウイルス感染症時系列対応戦略



疫学調査方法の変遷

事前の移動追跡と 位置情報取得方法

- 地域医療センター関係者
- 電話による聞き取り調査
- データ収集:
 - 基本的な聞き取りと詳細な聞き取り調査を**2回ずつ**実施
 - 密接な接触、隔離/孤立

※ 患者への聞き取り、監視カメラ映像、電子取引データ（QRコードなど）を介して接触者を特定



自己申告による調査方法

- 患者が確認される
- モバイル端末による自己申告による調査
- データ収集:
 - 基本的な聞き取りと詳細な聞き取り調査を**1回ずつ**実施
 - 同居人、同居人のためのウイルス検査

※ 各自により提供された情報に基づいているので患者が孤立しない



自己申告による調査方法(1)



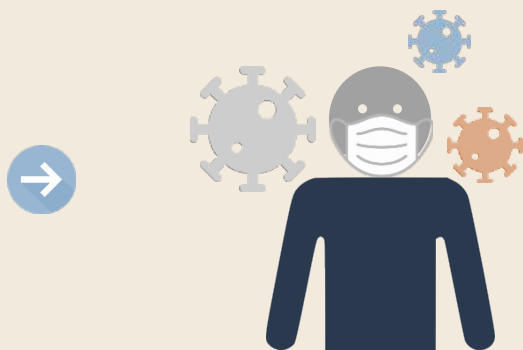
보건소, 의료기관 방문
検診施設へ行く
・保健所
・病院や診療所



전자문진표 작성
オンライン問診を終える
・QRコードでつながる
・受診前または現場にて



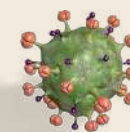
코로나 검사
新型コロナウイルス
感染症のPCR検査



확진자 통보 및 URL 발송
陽性者への通知
・確定した患者に通知する
・携帯電話にアンケートURLを送信する



자기기입식 조사서 작성
自己申告制のアンケートを完了する

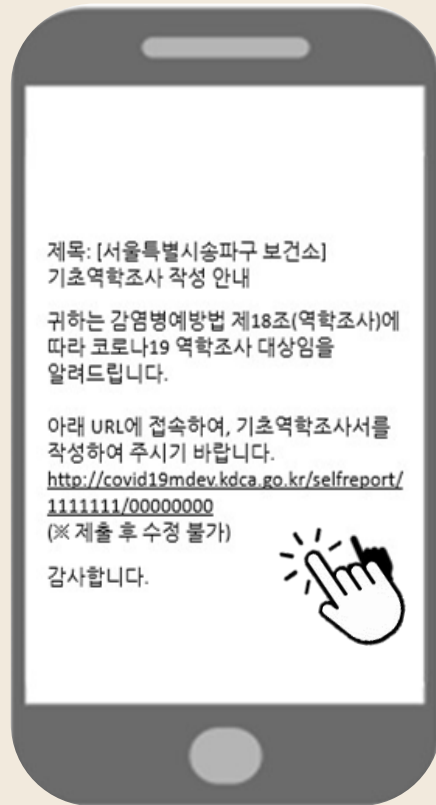


自己申告による調査方法(2)

■ 自己申告による調査データ

基本的情報（氏名、住民登録番号、性別、住所など）

✓ 新型コロナウイルス感染症の症状、基礎疾患、同居者、ワクチン接種日など



1.1 이름을 입력하세요. (필수)

1.2 주민등록번호(외국인등록번호)를 입력하세요. (필수)

1.3 성별을 선택하세요. (필수)

1.4 국적을 선택하세요. (필수)

1.5 거주지 주소를 입력하세요. (필수)

1.6 본인의 휴대전화번호를 입력하세요. (필수)

1.7 감염취약시설의 구성원(종사자, 이용자 또는 입소자)입니까? (필수)

1.8 동거정예인 여부를 선택하세요. (필수)

2.1 확진 14일전부터 현재까지 증상여부를 선택하세요. (필수)

2.2 이번 양성 판정 받은 검사일(검체채취일)은 언제인가요? (필수)

2.3 기저질환이 있나요? (필수)

2.4 키와 몸무게를 입력하세요. (필수)

2.5 이전에 코로나19에 감염된 적이 있으신가요? (필수)

3.1 동거인이 있나요? (필수)

동거인 정보

3.2 동거인 정보

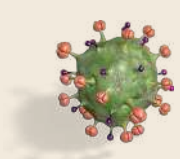
3.3 예방접종 최종차수를 선택하세요.

인적사항

증상 및 기저질환

동거인 정보

국민에서 탈퇴할 방법을 선택하세요. (필수)



自己申告による調査方法(3)



調査データは、EISS (Epidemiological Investigation Support System) 疫学調査支援システムに自動登録されます。

조사대상자 정보

조사자	관할시도	연락처	사무실 043
	조사보건소		핸드폰 010
	조사자성명	조사일	2022-11-14

1. 조사대상자 연락처 (해당사항에 대표시 또는 기재)

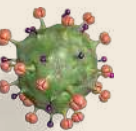
1.1 성명	한지정보조회	1.2 주민등록번호	1.3 성별	남	여
1.4 국적	국내	1.5 거주지 주소	도포명주소	주소찾기	
1.6 연락처	연차 010	보호자	본인여부	본인	보호자
1.7 귀하는 감염취약시설의 구성원 (중사자, 아유자 또는 입소자)입니까?	<input type="radio"/> 예 (중사자, 아유자) (시설명	시설담당자 연락처			
	<input type="radio"/> 아니요				
1.8 감염취약시설 유형(1-7 "예"인 경우 선택)	<input type="radio"/> 요양병원	<input type="radio"/> 요양시설(공동생활가정 포함)	<input type="radio"/> 주야간센터(단기 보호 포함)		
	<input type="radio"/> 정신의료기	<input type="radio"/> 정신요양시설	<input type="radio"/> 정신재활시설	<input type="radio"/> 장애인복지시설	
1.9 등록장애인 여부	<input type="radio"/> 예	<input type="radio"/> 아니요	1.10 장애유형	지체	정신 등
			1.11 장애정도	중증	경증

2. 증상 및 거처질원 (해당사항에 대표시 또는 기재)

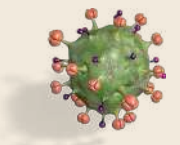
일시저장 **저장** 삭제 보고서 출력 파일접수 닫기

파일 목록

파일이 존재하지 않습니다.

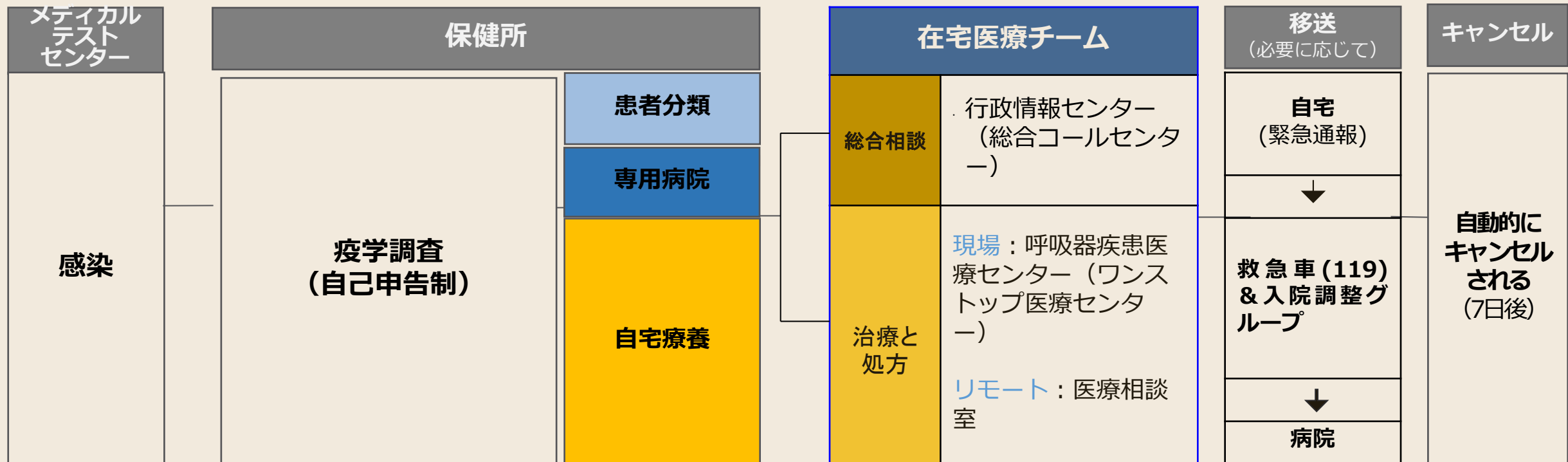


新型コロナウイルス感染症に対応した迅速かつ適切な治療体制の整備(在宅医療)

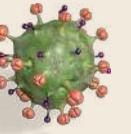


- 地区・都市での在宅療養患者の普及
- 緊急対応体制の確立により、24時間体制で緊急事態に迅速に対応

[ソウルの在宅療養患者]



新型コロナウイルス感染症に対応した迅速かつ適切な治療体制の整備 (在宅医療)



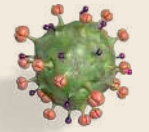
□ 主な成果

- **自宅療養の状況**： **4,989,257人**(2022年12月現在)
- 現場治療を行うための医療インフラ：ワンストップ医療センター数の増加：2,179箇所（2022年12月13日）
- ソウルの自宅療養患者のための相談所を継続的に運営（2箇所、2022年12月26日）
- **24時間365日の医療相談、薬の処方、緊急時の対応、必要時の入院対応**
- 自宅療養患者向け行政情報センター及び総合コールセンターの運営
- 60歳以上の一人暮らしの方への健康見守り活動
(独居高齢者のための地区別見守り隊の運営)
- 患者移送の手順を簡略化し、移送時間を短縮した緊急自宅療養患者移送



ワンストップ医療センター

ソウルにおける家庭のための安全施設



□ 取り組みの背景

- 新型コロナウイルス感染症患者の保護者以外の家族が、一時的に別居できる宿泊施設の運営による家族間感染の防止
- **Family safe homes**は、在宅療養者の家族に対し、感染症に対する不安を軽減し、家族が安心して生活できるように、無料で宿泊施設を提供する初めての事例です。

□ 普及の概要

期間：2022年1月10日～2022年5月23日

対象：別居を希望する保護者以外のワクチン接種済み家族（19歳以上の方のみ）

滞在期間：最長7日間（在宅療養患者の隔離期間）

料金：無料

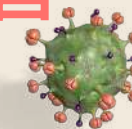
滞在场所：2つのホテル、14部屋（ヤノルヤによる経営）

予約方法：ソウル市予約システムへアクセスすると選考の結果、承認されます。

 <https://yeyak.seoul.go.kr/web/main.do>



ソウルにおける近親者のための安全施設(Family Safe Homes)の運営



○ 利用方法：合計1,523名（江北区947名、江南区576名）

新型コロナウイルス感染症評価が下がった（グレード1→グレード2）ことなど、自宅療養の段階的縮小に伴い、5月23日に早期終了。

The screenshot shows the Seoul Public Service Reservation website. The header includes the Seoul Metropolitan Government logo and navigation tabs for Sports, Venues, Activities, Lessons, Medical & Welfare, and Information. The main content area features a search bar, a 'Quick Reservation' button, and a 'Recommendations service' section. A sidebar on the right contains a 'Favorite' section with a chatbot, reservation history, and help, as well as an 'Adjust Size' section with plus and minus buttons and an 'Original' button. At the bottom, there is a 'RELAY CALL CENTER LINK' button.

Family Safe Homes の予約システム

新型コロナウイルス感染症患者専用の病院病床の確保と運用

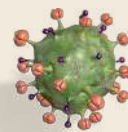
□ 推進と成果

- **初期段階:** 医療機関の自主参加、民間・公立病院の病床配置・管理・病床数の増加

- ➡ **次なる段階:** 感染者指定病床数の確保に関する行政指導



新型コロナウイルス感染症患者専用の病院病床の確保と運用



□ 推進経過

<病床数の増加>

2022年12月末時点の新型コロナウイルス感染症患者のベッド数

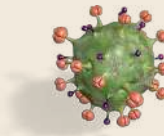
区分	最大増加数 (2022年3月25日)	減少後 (2022年5月30日)	新たな増加数 (2022年7月26日)	減少後 (2022年10月7日)	第七波	現在の病床数 (2022年12月5日)
合計	6,169	590	1,001	800	87	887
重症	705	127	264	264	△2	214
中等症	669	195	469	469	104	420
重篤	4,795	268	268	268	△15	253

※一般病床 42施設 737床

○ 特別病床の増床 (2022年12月5日)

合計	指定病院			一般病院の病床数		
	妊婦	子供	特殊な患者	妊婦	子供	特殊な患者
202	48	74	41	3	11	15

COVID-19患者専用病床の確保と運営

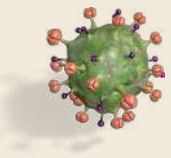


□ 推進経過

<病床数の管理>

- ベッドの割り当て:
 - 重症→感染症指定病院
 - 軽症 →一般医療機関、他の患者から隔離
- 効率化の向上: 長期入院患者の指定病床への移送・退院誘導による効率化

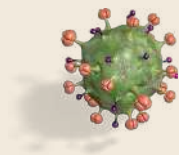
新型コロナウイルス患者専用の病床の確保と運営



□ 主な実績

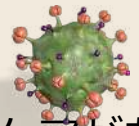
- ✓ **治療体制の確立:** 重症患者や特殊な患者を中心に、軽症患者の一般隔離病床への支援など
- ✓ **重症患者数と死亡者数を最小限に抑える:** 基礎疾患のある患者と高齢者の精密検疫によるハイリスクグループの保護の重点化
- ✓ **医療の盲点解消:** 妊婦・小児・特殊患者専用病床202床稼働（12月5日現在）
- ✓ **パンデミックへの備え:** 病床を確保し、病床容量を維持する

COVID-19患者専用の病床の確保と運営



□ 今後の予定

- **緊急事態への事前準備の強化**：冬場の新たな感染拡大に備えるため、病床や医療機器の収容量を保持する体制の整備
- **医療機器申請システムの構築**：新型コロナウイルス感染症の医療機器の管理強化と医療機関間での医療機器の共同利用
- **一般医療システムへの返戻**：感染患者数が減少すると、一般医療システムの感染患者用のベッド数を減らして、確認された症例のみを管理



老人ホームで活動する保健対策本部

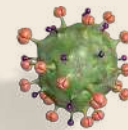
※新型コロナウイルス感染症による重症化と死亡を防ぐための老人ホームでの「Healthcare comes to you-ヘルスケアがあなたのもとへ」という取り組みに基づく

□プログラムの説明（手順等）

- **活動地域**：各地区1～3医療機関を指定して保健対策本部を編成（21地区24施設29チーム）
- **保健対策部**：医師1名と看護師1名（看護助手と交代可能）
- **運用期間**：2023年1月31日まで（感染状況により延長の可能性あり）
- **治療**：老人ホームで感染した居住者に対する対面治療と薬の処方、ベッドの割り当て
- **治療場所**：保健対策本部の活動エリア内における感染患者の対面治療を申請した老人ホーム
- **その他**：保健所に相談の上、新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けると介護施設を訪問可能

※ 602の保健対策本部が動員され、2,146人の患者が治療を受けた（このうち、691人が入院し、890人が薬を処方された）
(2022年12月時点で要改定)

介護施設等脆弱施設の感染対策教育

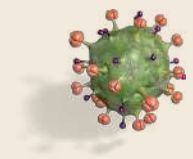


□ 背景

- 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、ソウル市内の介護施設の介護福祉士、社会福祉士などを含む様々な職種の介護従事者やホームレスの方々を対象に、感染症対策を強化するための感染症予防研修を実施。これにより高齢者や重症化や致死率が高いハイリスクグループの感染を最小限に抑える。



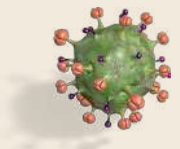
介護施設等脆弱施設の感染対策教育



□ プロジェクト概要

		Details	Period	Targets
看護病院	事実調査	83か所で調査	7月 - 8月	105 箇所
	現場訪問	22の高リスク施設の調査、FGI		
	結果分析	事実調査結果の分析	9月 - 12月	
介護施設	オンライン トレーニング	新型コロナウイルス感染症の疫学的特徴と対応、介護施設で新型コロナウイルス感染症が確認された場合の対応、介護施設における感染症対策の基本指針など	8月	422 locations 813 persons
	現場 トレーニング	手洗い実習、D級着衣脱衣実習、ATP汚染実測、感染症O/Xクイズなど	8月 - 10月	32 箇所
チョクバン (狭小部屋・ 貧困層 エリア)	現場 トレーニング	手洗い実習、ATP汚染の実測、感染症に関するO/Xクイズなど *対象：チョクバン貧民村の住民、相談所訪問者、介護者など	September - November	2 location

COVID 19 メンタルヘルスサポート(心の健康サポート)



□ Introduction

- **目的:** COVID-19によるうつ病の予防、メンタルサポートシステムの構築
- **対象:** COVID-19によるうつ病、ストレス、不安を抱えるソウル市民
- **方法:**メンタルヘルスケアセンター（医療機関）との連携

COVID-19メンタルサポート体制の整備

受取人情報の識別	メンタルサポートガイド	評価と カウンセリング	高リスクグループ の検診	事後 モニタリング
精神的サポート受取人の連絡先詳細	メンタルサポートガイドについてSMSの送信 案内チラシ・グッズ	精神的カウンセリングの提供 - カウンセリング、調査、評価や患者の状態と要求に基づいて必要な介入を提供 - 対面（オフィスまたは訪問）/デジタル媒体を介したカウンセリング	高リスクグループの連絡 - 症例管理 ・ 医療機関との連絡 - 独自のプログラムの提供、またはトラウマセンターでの回復プログラムの提携	定期的モニタリング(例: 1、3、6か月) 継続的なカウンセリングまたは連絡（必要に応じて）

保健所

陽性

確定患者 [及びその家族]
完治した患者 [と家族]
死亡した患者 [遺族]

対象者への 情報提供

厚生省

国立災害外傷センター

- ・ 24時間ホットライン (02-2204-0001) の運営
- ・ 患者・治療患者・遺族 (遺族) 確認・電話相談または面談相談
- ・ 現地転出・専門相談等 (必要に応じて)

SMG

SMG COVID-19統合心理学

ソウル精神保健福祉

- ・ 精神的支援の運用支援の実施
- ・ 隔離が確認された患者に対する精神的支援 (生活療養所)
- ・ 日々の精神的支援の結果の収集・管理・報告

濃厚接触者

隔離された患者
隔離が完了
治療した患者
[および家族]

対象者への 情報提供

心理支援センター

- ・ 管内総合心理支援・心理回復支援・病院等専門機関との連携 (必要に応じて)
- ・ 日常の心理支援実績報告等

心理的サポート

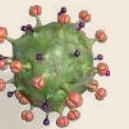
- ・ 地区内のセンター隔離患者に対する一般的な心理的サポート
- ・ 電話/面談によるメンタルヘルス評価
- ・ 現地での移動、転入
- ・ 高リスクグループへの介入との関連
- ・ 連結対象に関連するケース管理
- ・ 日々の心理的サポート実績レポートなど

心理的サポート

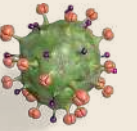
- ・ 24時間ホットライン (1577-0199) の運営
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民への心理的支援に関する情報発信
- ・ 日々の精神的支援実績報告 など

心理支援サービスのオンラインプラットフォーム

- カルーセル、動画、キャンペーンなどのデジタルコンテンツの開発・配信
- オンライン心理検疫プラットフォーム「Mododa」の開発



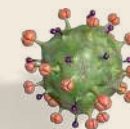
軽度のCOVIDを確認したソウル生活治療センターの居住者に対する 心理的サポート



□ はじめに

- ・ スマートフォンを使った自己査定の結果に応じて、メンタルヘルスの専門家が心理カウンセリング、情報提供、心理サポート商品を提供
- ・ 専門家の提供時、ボラメ医療センターでの治療との連携
- ・ 心理サービスが必要である場合、またはハイリスク者退院時は基礎精神保健福祉センターと連携

軽度のCOVIDに感染したことが確認されたソウル生活治療センターの 居住者に対する心理的サポート



<ソウル生活介護センターのサービス手続きと内容>

メンタルヘルスに関する情報	入所	メンタルヘルスセルフチェック	早期 カウンセリング	継続的な カウンセリング	退所
<ul style="list-style-type: none"> 心理サポート商品の提供 <ul style="list-style-type: none"> 入居関連 テキストの送信 自己検査に関するガイダンス メンタルヘルス関連情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 心理サポート情報 <ul style="list-style-type: none"> 同意の確認 自己点検を促す 	<ul style="list-style-type: none"> うつ病 (PHQ2) 全般性不安障害 (GAD) <ul style="list-style-type: none"> 心的外傷後ストレス障害 (PD-PTSD) 自殺念慮 (P4) 	<ul style="list-style-type: none"> 自己検査結果 通常群、要注意群 ハイリスク群 スクリーニング 結果に関するガイダンス 非回答者の電話ベースの評価と心理的高リスク要因の調査 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な監視 居住者の主な不満とサービス要件に基づいた心理的サポートの提供 必要に応じて、心理療法や医療支援グループとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> 退所関連テキストの送信 地域コミュニティの情報に関するガイダンス 必要に応じて現地センターと連携



□ 新型コロナウイルス感染症対応チームのストレス解消のためのオンライン/オフラインプログラム運営

- **対象**：新型コロナウイルス感染症対応チーム、ライフケアセンター、感染症医療センター
- **内容**：お茶・お茶、マッサージ、ネイルアート、専門家によるコンサルティング等の提供、元気や応援メッセージの配信、心理的サポート 秋夕休暇中のYouTubeとZoomによる元気パーティーとヒーリングコンサートの運営

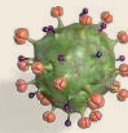
□ メンタルサポートバスの運行

- **対象**：新型コロナウイルス感染症対応チーム、脆弱地域の福祉センター
- **内容**：心理カウンセリングによるメンタルヘルス評価、ストレスコントロール

□ 現状（2020年2月1日～2022年11月30日）

- ソウルCOVID-19統合心理支援団 心理支援公演

	COVID19が確認された患者と家族		退所した患者		公共		治療接続
	カウンセリング	情報	カウンセリング	情報	カウンセリング	情報	
結果（件）	116,656	1,005,086	10,414	177,683	60,487	127,627	18,235

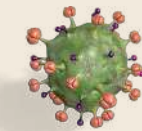


□ 心理的サポートを提供するオンラインプラットフォーム

	COVID-19 心理的サポート グループのウェブサイト			Modooda	Nuguna Chatbot	メンタルヘルス フェア		ヒーリング ウィーク
	内容	訪問者数	YouTube 再生数	訪問者数	訪問者数	ライブ配信	オープンチャット カウンセリング	再生数
成果 (ケース)	187	401,383	39,821	82,642	8,026	6回 1,274名	8回 58名	2,785

□ 実績

- ・ 大規模な社会災害に対応するソウル総合心理支援グループの結成
- ・ 新型コロナウイルス感染症確定患者を含むライフサイクルステージ別のオンライン・オフラインの心理サポート、死角の弱者へのオンサイト心理サポートの運用
- ・ 地域生活療養所の先制的精神支援として、軽度の新型コロナウイルス感染症確定患者に対する生活療養所の精神的支援に関するガイドラインの作成と普及
- ・ 重度の精神疾患患者のケースを管理する際の不安を軽減し、コミュニティの回復を促進するための、ケースマネージャー向けのデジタルを介したケース管理コンテンツの開発

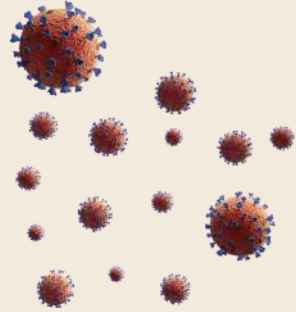


□訪問心理支援サービス

- メンタルカウンセリングが必要な場所をバスで訪問し、対面でカウンセリングを行うオンサイト密着サービスを提供



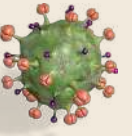
04



COVID-19ワクチン接種後の 有害事象の補償



新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の有害事象の補償について



- **目的**：感染による重体や死亡を最小限にし、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種率を向上させます。
- **方法**：ワクチン接種後、副反応治療のために医療機関を受診して支払った金額が30万ウォン未満かそれ以上かによって、補償金が2つに分けられます。
- 補償が拒否された場合、2つの異議が報告される可能性があります。
- 最も多く報告されている症状は、発熱、筋肉痛、頭痛などの一般的な症状です。
- 最近の重篤な副作用の報告の中では、心筋炎／心膜炎が最も多く報告されています。

迅速な疫学調査および新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の副反応（重度）発生時の因果関係解析による安全なワクチン接種の推進

報告	→	発生時の認識	システム報告	→	疫学調査とシステム報告	因果関係の評価	→	最終評価結果報告
ホスピタル ガーディアン		保健所			迅速な対応体制・チーム			韓国疾病予防 管理庁 KDCA

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の有害事象の補償について



副作用による被害賠償（少なくとも30万ウォン以上）

補償金申請者	補償金申請	保健所	補償金申請	Si/Do	補償金申請	韓国疾病予防管理庁	審議要請	被害賠償 専門委員会
	→		→		→		→	
	→	補償申請書の 受理	→	基本的な被害状 況調査、 因果関係の検証	→	被害状況の 詳細調査、 因果関係の評価	→	補償の 因果関係の判定
	結果通知		結果通知		結果通知		結果報告	

補償金の支払い

- 30万ウォン以上の被害補償は、KCDCによって管理されています。
- 被害補償の報告は、平均してワクチン接種日から6~7ヶ月後が最も多いです。
- 最も多い年齢層は60代と20代で、女性が男性の1.5倍も報告されています。
- 最も多く報告されている症状は、頭痛、胸痛、めまい等です。
- 最近、子宮出血異常、ギラン・バレー症候群、顔面神経麻痺などの報告が増えており、これらの副作用は因果関係が認められていないが、基準を満たせば医療費の補助が受けられます。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の有害事象の補償について



新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の副反応による 30万ウォン未満の申請に対する補償手続きについて

補償金申請者	補償金申請	保健所	補償金申請	Si/Do	結果通知	韓国疾病管理 予防庁
	➡		➡		➡	
	←	補償申請書 の受理	←	基本的な被害状況 調査、 因果関係の検証	←	被害状況の 詳細調査、 因果関係の評価
結果通知	結果通知		結果要求			

- 30万ウォン未満の場合、2022年からソウル市が新型コロナウイルス感染症ワクチン補償を管理しています。
- 治療費が30万ウォン未満の場合、因果関係の審査による補償率は約33%です。
- 年代別では60代と20代が最も多く、女性が男性の2倍以上報告されています。
- 被害補償の報告は、平均してワクチン接種日から5ヶ月後が最も多いです。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後の有害事象の補償について

ソウル市は、2022年から30万ウォン以下の補償に関するワクチンと副反応の因果関係を明らかにする委員会を組織しています。

○ソウル市専門家検討委員会の設置（2022年2月～12月）

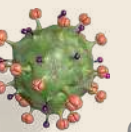
- ・ **構成**：専門家6名（感染症研究センター長、予防医学・呼吸器内科教授陣、内科部長、医事弁護士など）
- ・ **稼働状況**：月1～2回、因果関係の判断が難しいケースを中心に開催。
- ・ **推進の背景**：SMG（The Seoul Metropolitan Government）の専門家による審議委員会で審議・決議の上、因果関係が立証できれば速やかに補償を決定します。

ソウル市は、ワクチン接種に伴う副反応を周知する相談所を運営しています

○実施時期（2022年4月～12月）

ソウル市民が予防接種後に副反応が出た場合、どうすればいいのか相談することができます。副反応報告後に疫学調査の進捗状況を問い合わせれば、相談センターが親切に対応します。

- ・ **稼働時間**：月～金 9時～18時
- ・ **カウンセリングスタッフ**：医師、看護師、ソーシャルワーカーなど



05

新型コロナウイルス(COVID-19)

抗体有病率調査結果の

公表について(2022年9月分)

2022. 9. 23. 

https://www.kdca.go.kr/

Release of the results of the COVID-19 antibody positive rate survey conducted on 10,000 individuals in 17 cities and provinces across the country

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)陽性率調査結果の公表について
国全体の17の都市と省の10,000人を対象に実施 調査結果の概要

Overview of Survey Results

- Targets** Primary investigation participants: 9,901 persons
- Period** Aug. 5 (Fri) – Sep. 6 (Tue), 2022
- Test Method** Antibody tests utilizing COVID-19 S* and N* antigens
 - *S (spike) antigen: Detection of natural infection and vaccine-induced antibodies (infection + vaccination).
 - **N (nucleoprotein) antigen: Detection of antibodies after infection (natural infection)
- Results** Positive antibody rate by natural infection: 57.65%
Antibody-positive (natural infection + vaccination): 97.38%

*(Reason for implementation) Article 17 of the Infectious Disease Control and Prevention Act (Investigations into Actual Conditions), COVID-19 Emergency Response 100-Day Roadmap Tasks (1-1) (Apr. 27, 2022)

1/6

